

今年度4回目の国際交流はラドフォードハウススクールとの交流会でした。

今回はJSJの児童生徒がラドフォードハウススクールを訪問し、同じ学年の子とペアを組み、ラドフォードハウススクールの特別授業を一緒に受けました。

到着後すぐに行われたオープニングセレモニーでは、ラドフォードハウススクールの児童生徒が南アフリカのナショナルアンセム(南ア国歌)を歌ってくれました。その後、ラドフォードハウススクールの音楽の先生が南ア国歌の歴史を説明してくださいました。もともと2つあった曲を、アパルトヘイト終了後の1997年に1つの曲として編曲されたということ。コサ語、スールー語、ソト語、アフリカーンス語、英語の5つの公用語で歌われていることなどの話がありました。

次に美術の先生から、ンテベレアートของ藝術家の Dr Esther Mahlangu の作品を通してンテベレ文化の紹介がありました。ペンでは無く鶏の羽を使って、色鮮やかに描くウォールアートは見応え十分。ンテベレアートが施されたデザインカーは、5000万円を超える価値があるそうです。

その後JSJの児童生徒はペアの子と共に、ビーズアート作りの授業を受けました。色と味のいのビーズをペアの子と話しながら楽しく完成することができました。

2つ目の授業は、理科の先生がイースト菌を使った実験を見せてくれました。イースト菌の量によってふくらむ具合が異なることを学びました。その後はアフリカーンス文化のパン作りです。イースト菌の働きで、パン生地を熱を加えると生地がふくらむというのを目で見て確認し、その後実際に食べて確認しました。

クローキングセレモニーでは舞台上でソーラン節を披露し、拍手喝采を浴びてラドフォードハウススクールを後にしました。今後もラドフォードハウススクールとは定期的に Pen Pal として繋がって行くことになりそうです。





